

令和3年度 つつじが丘幼稚園自己点検・評価 結果公表シート

学校法人 帯広葵学園 認定こども園 つつじが丘幼稚園

1. つつじが丘幼稚園の教育目標

「丈夫な体の子ども」「仲良く遊べる子ども」「自分で考える子ども」を育てる。
 「生きる力を身につけた 明るく たくましい子ども」
 考える力 豊かな心 丈夫な体

2. 本年度の重点的に定めた教育目標

本園の教育課程及び指導計画の再点検を行うとともに、保育・教育のあり方・保育・教育の内容の改善等、園運営に工夫を凝らし、より多様化する幼稚園の改革を計画的に進めていく

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目		評価結果			
		A	B	C	D
1 教育課程・指導 (保育の計画性)	園の教育目標、教育課程を理解し、それを基に子どもの実態を踏まえて保育計画を立てているか。	9	4	2	0
2 組織・運営	共通理解に立ち、協働意識を持ち、子どもの保育・教育達成に向けて、一つの方向に向かって取り組んでいるか。	6	8	1	0
3 研修体制	幼稚園教諭としての役割をしっかりと認識し、常に自己研鑽に努め保育者としての能力向上に努めているか。	3	11	1	0
4 情報提供	各種便り等で、幼稚園の様子、子ども達の園内での様子を積極的に公開しているか。	4	10	1	0
5 保健・安全管理	子ども達の体調管理・怪我防止に努め、また、日常的に園内での危険項目の点検を行い、バス運行・給食も含めてすべての面での安全に努めているか。	5	9	1	0
6 評価	常に保育・教育活動の振り返り、それに対する自己評価を行い、その評価を次へ生かすようにしているか。	4	10	1	0
7 保護者・地域との連携	連絡帳等により、家庭内の子ども達の様子を知るために保護者と連絡を密にしているか。 地域の小中学校等との交流を図るなどして地域との連携に努めているか。	6	7	2	0

8 子育て支援	未就園児対象の子育て支援に対して、幼稚園全体で共通理解に立ち、取り組んでいるか。	3	9	2	0
9 預かり保育	母親の社会進出の増加を受けて、保護者が預けやすい預かり保育の運営に努めているか。	5	9	1	0
10 教育環境整備	園舎・設備の老朽化が進んでいるが、その改善に努めると同時に、老朽化が支障にならないように保育・教育活動を工夫しているか。	3	8	4	0

※ 自己評価結果の表示方法
A・・・十分達成された
B・・・概ね達成
C・・・取り組んだが達成が不十分
D・・・取り組みが不十分

4. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
職員同士師の共通理解 情報共有 仕事の効率化	<ul style="list-style-type: none"> 職員間の連絡を密に取り、連携がしっかりとれた中で保育を行っていく。 職員が多いので、情報伝達の漏れがないようにする。 職員間の「報・連・相・確」を徹底する。
職員の能力・資質向上 自己のスキルアップ	<ul style="list-style-type: none"> 広い視野で物事をとらえ、臨機応変に対応していけるよう知識や経験を身に付けていく。 自己研修を含めて園内での研修をしっかりと行っていく。 ピアノの技術向上。 新人職員、若い職員の育成のために、経験ある職員の経験と若い職員が養成校で学んできたことを合わせて、保育の質の向上を図る。
保育の効率化 保育の質向上 保育中の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> 保育や行事等の事前準備や打合せの徹底。 怪我、事故防止のための事前確認の徹底。 役割分担等をしっかりと行ない、一人の職員の負担過重にならないようにする。 前日までに準備し、子ども達の姿を考え、どのような場合にも対応できるようにする。
保育環境の整備 労働環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 雨漏り等、園舎の老朽化から生じる子ども達への危険を取り去るための改善策を考える。 エアコンが未設置の教室へのエアコン設置。廊下の暖房設置。一回手洗い場の全ての蛇口でお湯が出るようにする。 園児数が少なくなり、バス利用園児も少なくなってきたので、バス台数の見直しを図る。 職員が働きやすい職場環境に改善する。(パート職員も含めて) 園内の雰囲気改善。 若い職員が辞めていかない職場作り。

5. 評価の目標や計画の総合的な評価結果

- 評価の目標や計画の総合的な評価については、今年度も概ね達成できた。
- 職員から出てきた取り組むべき課題が、多岐にわたり、職員の意識の高揚が図られてきた。この意識高揚を幼稚園の改善につなげていく必要がある。
- 教育課程・保育計画の内容の改善に努め、職員の共通理解をもとにして保育の質の改善に努めていく。
- 幼稚園全体としての保育活動、園運営の向上を目指すことにより、更なる充実した保育の実践につなげていく。
- 今年度も正職員の自己評価となったが、今後はより多くの評価、意見を聞くために、嘱託職員、パート職員による自己評価の実施を考えていく。